



Kusamura Daisei

町長のうごき

町長交際費

日付	金額	分類	主な内容
10月3日	4,400	地区奉納	尾下菅原神社秋季大祭及び畜霊祭の折
10月4日	10,000	会費	第9回かたらんネ！阿蘇2024～熊本の水を育む阿蘇の草原～
10月7日	7,000	会費	令和6年度高森町森交会

- 9月20日 令和6年第3回定例会（9月12日～）
- 9月21日 高森町老人クラブ健康づくりスポーツ大会
- 9月25日 第69回熊本県公民館大会・令和6年度熊本県社会教育研究大会合同大会
阿蘇地区大会（西原村：西原村総合体育館）
- 9月27日 阿蘇広域行政事務組合正副管理者会議（阿蘇市：大阿蘇環境センター未来館）
- 9月28日 第3回追手風杯少年相撲大会
熊本県PTA研究大会レセプション（阿蘇市：ホテルサンクラウン大阿蘇）
- 10月1日 辞令交付式（教育委員及び職員）
第6回阿蘇草原再生千年委員会（阿蘇市：ホテルサンクラウン大阿蘇）
阿蘇世界文化遺産登録推進九州会議（阿蘇市：ホテルサンクラウン大阿蘇）
- 10月3日 令和6年度尾下菅原神社秋季大祭及び野尻地区畜霊祭
- 10月4日 熊本県市町村総務事務組合協議会定例会（熊本市：熊本県市町村自治会館）
熊本県町村会評議員会（熊本市：熊本県市町村自治会館）
第9回かたらんネ！阿蘇2024～熊本の水を育む阿蘇の草原～（熊本市：熊本ホテルキャッスル）
- 10月5日 高森町老人クラブ演芸大会
- 10月7日 定例駐在囑託員会議
高森町森交会懇親会
- 10月8日 阿蘇広域行政事務組合職員採用試験一次選考委員会（阿蘇市：大阿蘇環境センター未来館）
- 10月9日 令和6年度阿蘇山直轄砂防事業促進期成会要望活動（東京都：財務省・国土交通省）
- 10月11日 第45回阿蘇郡市身体障がい者体育大会（小国町：小国ドーム）
- 10月13日 マイナビ ツール・ド・九州2024（南阿蘇村：南阿蘇村役場）

町発注工事と業務委託契約状況 令和6年8月21日～9月20日分 ※10万円以上で契約を行ったすべてを記載しています。（一部随意契約を除く）

番号	担当課	契約日	工事（業務委託）名	工期	契約相手	請負代金
1	建設課	令和6年8月26日	黒岩・大戸ノ口線道路路面整備工事	令和6年 8月26日から 令和7年 3月21日まで	有富士造園土木	14,520,000円
2	建設課	令和6年8月27日	東黒岩橋橋梁補修工事	令和6年 8月27日から 令和7年 3月21日まで	有後藤建設	26,708,000円
3	住民福祉課	令和6年9月 2日	色見保育園園庭舗装及び屋根取合い補修工事	令和6年 9月 2日から 令和6年10月31日まで	有安方工務店	517,000円
4	政策推進課	令和6年9月 4日	2024年地方公共団体情報システム標準化・共通化事業委託費	令和6年 9月 4日から 令和7年 3月31日まで	株RKKCS	2,679,600円
5	税務課	令和6年9月12日	地籍調査事業過年度数値情報化業務委託	令和6年 9月12日から 令和7年 2月28日まで	国土情報開発株	2,398,000円
6	教育委員会	令和6年9月17日	高森東学園義務教育学校多目的ホール屋根改修工事	令和6年 9月17日から 令和6年11月30日まで	有岡本建築	2,255,000円
7	建設課	令和6年9月17日	味鳥橋橋梁架替下部工（A1）工事	令和6年 9月17日から 令和7年 3月21日まで	有古寺工務店	43,109,000円
8	建設課	令和6年9月17日	味鳥橋橋梁架替下部工（A2）工事	令和6年 9月17日から 令和7年 3月21日まで	有後藤樹木園	34,100,000円
9	生活環境課	令和6年9月17日	高森湧水トンネル公園湧水館雨漏り改修業務委託	令和6年 9月17日から 令和6年10月18日まで	株飯干板金工業	638,000円
10	税務課	令和6年9月18日	高森町固定資産管理システム専用端末更新業務委託	令和6年 9月18日から 令和6年10月31日まで	株九州不動産鑑定所	1,102,200円
11	税務課	令和6年9月18日	令和6年度高森町地番図異動更新業務委託	令和6年 9月18日から 令和7年 3月17日まで	株九州不動産鑑定所	1,875,500円

人にやさしいまちの実現に向けて～互いの人権を尊重し、支え合うことから～ — 2024年度阿蘇郡市人権同和教育研究大会に参加して —



◆はじめに

この大会は、阿蘇郡市内の7市町村から、地域、学校、保育園・幼稚園、企業・団体、議会、行政など、各組織に所属する人たちが参加し、あらゆる人権問題について考え、学び合う研修会であり、今年で40回を数える歴史ある大会です。8月4日（日）の午前に郡市内6会場で分散開催され、事務局を担当した西原村をはじめ各市町村が大会の運営を担っていきました。

また、分科会は「学校人権同和教育部会」が4つ、「就学前人権同和教育部会」と「社会人権同和教育部会・部落解放部会」が1つずつで、各会場に75人～100人の参加者が集い、2本のレポート発表、質疑応答、意見交換、まとめという流れで行われました。ここでは、私が参加した西原村会場についてご紹介します。



分科会の様子（高森町会場）

◆分科会の報告内容から

会場となった西原村総合体育館では、「社会人権同和教育部会・部落解放部会」の分科会が行われ、100人を超える方々が参加されました。そして、部会のテーマ「部落差別の現実に深く学び、家庭・地域での人権同和教育問題解決に向けた、わたしたちひとりひとりの取組を確認し合おう」を柱にお二人の報告者が発表され、それを受けて参加者

全員で意見交換を行いました。

報告者のうちのお一人は高森町の中川和子さんでした。レポートの内容は、長年、ボランティアで「高森町ふれあい子ども会」にかかわる中、8年前の熊本地震をきっかけに、子どもの居場所づくりとして「子ども食堂」を立ち上げたこと、さらにこの取組では、地域、学校、行政等との繋がりを大切にしてきたこと、などについての報告でした。

◆「人とひとを繋ぐ場所づくり」から「人にやさしいまちづくり」へ

中川さんはこの中で、「自ら立ち上げた『こどもキッチンこころ（子ども食堂）』が、子どもや一人暮らしの高齢者の方にとって心地よい居場所であることを目指した」と述べておられます。また、周囲の大人による、子ども食堂に対する誤ったイメージを払拭するために、この活動を「人とひとを繋ぐ場所づくり」と捉えて取り組んでこられました。

私は、これらの考え方や行動こそが「人を大切にする」、「人に寄り添う」という言葉の具体的な姿であることを実感すると共に、自分にとっても大きな学びとなりました。

8年前に動き出した1つの小さな行動は、今、その取組に共感する多くの人たちとの繋がりの中で、大きな輪となって広がっています。（*中川さんの子ども食堂の取組については、昨年の広報7月号にも紹介されています。）